

## 7節 マスチック塗材塗り仕上げ外壁等の改修

### 4. 7. 1 適用範囲

この項は、コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面及びALCパネル面に、マスチック塗材を多孔質のハンドローラーを用いて塗る工法に適用する。

### 4. 7. 2 マスチック塗材塗り

(a) マスチック塗材塗りは、表4. 7. 1. により、種別は特記による。

表4. 7. 1 マスチック塗材塗り

工 程	種別		塗材その他	商 品 名 希釈剤・希釈率	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> )	
	A種	B種				
下地調整	○(注)1		表7. 2. 5 [モルタル面及びプaster一面の下地調整]又は7. 2. 6 [コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の下地調整]による。			
1	下地 押え	○	—	合成樹脂エマルジョンシーラー	ニッパ° 水性透明シーラー 水道水 100%	0.12
		—	○	マスチックC用シーラー	—	0.12
2	塗材 塗り	○	—	マスチック塗材A	ニッパ° マスチックA 水道水 0~5%	1.20
		—	○	マスチック塗材C	—	1.80
3	仕上 材 塗り	—	○	つや有合成樹脂エマルジョンペイント 2回塗り	—	0.20

(注) 1. 下地調整の種別は、塗材その他の欄による。

2. 押出成形セメント板面の素地ごしらは、表7. 2. 6によるRB種とする。

(b) 仕上材塗りはつや有合成樹脂エマルジョンペイントとし、種類及び適用は特記による。

(c) マスチック塗材は、製造所にて調合されたものとする。

(d) マスチック塗材は、施工に先立ちかくはん機を用いてかくはんする。

(e) 塗付けは、下地にくばり塗りを行ったのち、均し塗りをを行い、次にローラー転圧によりパターン付けをして一段塗りで仕上げる。

(f) 塗継ぎ幅は、800mm程度を標準として、塗継ぎ部が目立たないように、むらなく仕上げる。

(g) パターンの不ぞろいは、追掛塗をし、むら直しを行って調整する。

(h) 部分改修工法は(a)から(g)までにより、既存部分との模様を合わせるように施工する。